

Welcome to
the **Delight World**

日本たばこ産業株式会社
2003年度中間期事業報告書

Vol.3

2003年度中間期 事業報告

文豪たちとたばこ

「島崎 藤村」

MEET YOUR DELIGHT

医薬事業部

事業企画部長 大久保 憲朗に聞く

新商品開発ストーリー

「マイルドセブン・プライム・スーパーライト・ボックス」

新商品のご紹介

ルーシア・シトラスフレッシュ・メンソール /

「ルーツ ライブボディ」「ルーツ リアルブレンド」「ルーツ ファインエッジ微糖」「ルーツ アロマブラック」 /

「チーズをのせた若鶏のオープン焼き」「えびいか貝柱のかき揚げ」

特集

マイルドセブン・プライム・カフェ | SmoCar 2 (スモーカー2)
(11月4日ルーシア・カフェから改称)

イベント

JTアートホール アフィニス / ゴルフ日本シリーズJTカップ / F1

MEET
YOUR
DELIGHT 

ごあいさつ



平素は当社の事業運営に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに「Welcome to the Delight World (2003年度中間期事業報告書)」を株主の皆さまへお届けし、当社の業績ならびに今後の経営方針についてご報告申し上げます。

2003年度中間期を振り返って

2003年度中間期の実績は、売上高、EBITDA*1、営業利益、経常利益につきましては、3期連続の増収増益となりました。また、中間純損益が損失となりましたが、これは主に財務体質の一層の健全化を図り、共済年金給付負担金を特別損失として一括処理したためです。なお、この共済年金給付負担金一括処理の影響を除いて試算すれば、中間純損益も増益となっております。

今中間期においては、国内たばこ事業では伸張しているメンソール市場やプレミアム市場を

中心に新製品の投入などの売上高成長施策を実施しました。海外たばこ事業においては高価格製品であり注力しているGFB*2の販売数量が順調に増加し、食品事業では営業損益を改善しております。

2003年8月に発表してまだ間もない中期経営計画「JT PLAN-V」は着実なスタートを切ったと考えております。

*1 EBITDA: 利払い費用、税金、有形・無形固定資産など償却前の利益

*2 GFB: グローバル・フラッグシップ・ブランドの略称で、キャメル、ウイinston、マイルドセブン、セーラムをさします。

資料1

2003年度中間期連結決算(対前中間期比較)

(単位:億円)

	2002年度中間期	2003年度中間期	増 減
売上高	22,961	23,176	214
EBITDA	1,879	1,977	97
営業利益	1,143	1,288	144
経常利益	1,043	1,188	145
中間純利益(損失)	520	(注) 492	1,012

(注)共済年金給付負担金の一括処理により特別損失1,850億円を計上したことから当期純利益はマイナス

資料2

2004年3月期連結業績予想(対当初見込み比較*)

当初見込みに対して上方修正

売上高:上方修正

EBITDA、営業利益、経常利益:上方修正 最高益更新見込み

当期純損益:ほぼ横ばい

(単位:億円)

	当初見込み	中間時見込み	増 減
売上高	45,800	46,400	600
EBITDA	3,270	3,470	200
営業利益	1,850	2,040	190
経常利益	1,740	1,870	130
当期純利益(損失)	200	170	30
フリー・キャッシュ・フロー	1,920	1,990	70

*当初見込みは本年5月時点のものです。

2004年3月期の業績予想

2004年3月期の業績予想について、年度当初(本年5月時点)の見込みと比較してご説明します。

売上高につきましては、GFB販売数量の伸張を主因として海外たばこ事業において売上増を見込むことなどから、600億円の増加を予想しております。

営業利益につきましては、国内たばこ事業における売上成長施策の効果による単価上昇に加え、一時的な要因も含めたコスト減少により、

190億円増加し会社化以降の最高益を更新する見込みです。

営業利益は当初見込みに対し190億円増加する見込みですが、当期純損益につきましては、「JT PLAN-V」達成に向けての諸施策の実施により、事業構造強化費用、事業整理損などの特別損失が増加することから、30億円の改善にとどまると予想しています。なお、共済年金給付負担金の一括処理の影響を除いて試算すれば、当期純利益は前年度から増益となる見込みです。

配当について

当社の配当に関する基本方針は、「『JT PLAN-V』の経営目標達成状況および中長期の収益見通しを踏まえつつ、配当水準の段階的向上を図る」というものです。

当期純損益は、年度当初の見込みと比較してほぼ横ばいと予想しています。したがって、中間配当については、当初見込み通り5,000円とさせていただきます。なお、中間配当を含む年間配当額は、当初見込み通り10,000円を予定しています。

社会における「かけがえのない存在」へ

当社は、昨年4月、新ミッション「JTブランディング宣言」を策定しました。たばこ、医薬、食品などの事業をはじめとするあらゆる企業活動を通じて、株主の皆さまをはじめとするステー

クホルダーの方々に「かけがえのないDelight」＝「期待を越える驚き、喜びといった、当社ならではの付加価値」を提供することを「ブランディング」と定義し、それを実現することにより、社会において「かけがえのない存在」になりたいと考えています。

当社は、この「JTブランディング宣言」に沿った活動を行うことにより、キャッシュフローを成長させ、企業価値の増大を図り、株主の皆さまをはじめとするステークホルダーの方々の信任を得られる経営に今後とも努めてまいります。

2003年11月

代表取締役社長

本田勝彦

将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている、当社又は当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価等といった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし事実または前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見通しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実または前提（仮定）が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となりうるリスクや要因は多数あります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます。（なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。）

(1)喫煙に関する健康上の懸念の増大 (2)たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等 (3)国内外の訴訟の動向 (4)たばこ事業以外へ多角化する当社の能力 (5)国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力 (6)市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化 (7)買収やビジネスの多角化に伴う影響 (8)国内外の経済状況 (9)為替変動及び原材料費の変動

社長インタビュー



「JT PLAN-V」で掲げた施策について、具体的な進展はありましたか。

(本田) 私どもは、本年8月、中期経営計画「JT PLAN-V」を策定しました。「JT PLAN-V」は、「価値創造ビジネスを多角的に展開するグローバル成長企業」という将来像を明確にしたうえでの、2006年3月までの実行計画です。

国内たばこ事業では、伸張セグメントでありながら、当社が劣勢にあるタール1mg市場、メンソール市場、プレミアム市場でのシェア獲得を目指しています。タール1mg製品については、新製品の投入に加え、競争力強化の観点から本年7月より競合品と同価格とした効果もあり、シェアを伸ばしております。また、メンソール市場およびプレミアム市場へは、地域限定発売で合計6銘柄を投入しました。こうした新製品投入などの取り組みの結果、それぞれの市場における当社のシェアは伸張しております。

また、当社独自の技術で消費者ニーズを適確に捉えた低臭気という新たな市場を創造することを目指し、好調に推移しております「ルーシア・シトラスフレッシュ・メンソール」の販売エリアを、11月より、首都圏から全国に拡大します。また、主力ブランドのマイルドセブンについても低臭気製品「マイルドセブン・プライム・スーパーライト・ボックス」を11月に発売します。一方、利益成長のためのコスト構造改革にも注力しており、7月には国内原料部門の組織再編成を、9月には6カ所の国内たばこ製造工場の閉鎖と6カ所の営業支店の統廃合を発表しました。たばこ

製造工場については、昨年7月にも8カ所の閉鎖を発表しており、2005年4月時点では10工場体制となります。

海外たばこ事業は、JTグループの利益成長の牽引役として、GFB販売数量の成長による利益成長を目指しています。GFBのブランド価値強化の一環として、今年はセラムの世界的な刷新を行っており、7月よりアジア地域の一部からスタートし、順次投入地域を拡大しています。

食品事業では、「JT PLAN-V」期間中に営業利益の黒字体質を確立し、事業基盤の充実に努めることとしており、今中間期では着実に営業利益の改善を進めています。

医薬事業においては、世界レベルの新薬になりうる候補品3品目を臨床開発段階に入れることを目標としており、その実現に向けて積極的に研究開発に取り組んでいます。

その他にも、全社施策として、退職給付制度の変更、間接業務の効率化の実施についてもすでに公表しております。

また、本年6月の株主総会において、株主の皆さまから、経営の選択肢の拡大のため、10万株、750億円を上限として自己株式の取得をご承認いただきました。これに基づき、10月9日に、45,800株の自己株式取得を実施いたしました。今後とも、自己株式取得の実施につきましては、経営上の必要性に加え市場動向などを踏まえ、適時適切に決定していきます。

「JT PLAN-V」は始まったばかりではありますが、今後とも着実に諸施策を実行し、株主の皆さまのご期待にお応えするべく経営陣一丸となって、努力してまいります。

7月にたばこ税の増税があり、定価改定を行っていますが、国内のたばこの販売状況はどうなっているのでしょうか。

(本田) 国内のたばこ需要は、高齢化の進展、喫煙と健康に関する意識の高まりなどの構造的要因を背景に、長期化する景気低迷に加え、7月1日のたばこ税の増税実施に伴う定価改定により、減少傾向が継続しています。

当社の7～9月期の販売数量は、定価改定前に発生した仮需要の反動により、前年同期に比べて126億本(21.1%)減少し、470億本でした。しかしながら、仮需要が起こった4～6月期の実績と合わせた4～9月の期間で見ると、1,126億本と前年同期に比べて53億本(4.6%)の減少となっており、年度当初の想定範囲内でした。

なお、9月までの実績を考慮した結果、今年度の販売数量は、年度当初の想定通り、前年度に比べて120億本減少の2,170億本と見込んでいます。

営業の概況

〔たばこ事業〕

国内たばこ事業につきましては、売上成長戦略として、伸張セグメントであるメンソール市場およびプレミアム市場を中心に新製品の積極的投入を行い、一方、地域限定で発売していた新製品について販売エリアの拡大を行うとともに、市場特性に応じた積極的かつ効率的な販売促進活動に努めました。具体的には、本年5月に「ホープ・メンソール」を愛知県限定で発売し、「キャビン・マイルド・メンソール」を宮城県限定、プレミアムブランド「アルファベット・エイチ/アール/シー」を福岡県限定で、それぞれ本年8月に発売いたしました。また、本年5月より「アイシーン・スーパー・クーリング・メンソール」を全国拡販いたしました。さらに、当社独自の技術による低臭気、低副流煙の機能を付加した「ルーシア・シトラスフレッシュ・メンソール」を、本年8月より首都圏エリアに拡販し、本年11月からは全国拡販を予定しております。また、本年11月より低臭気ブランドの第二弾となる新製品「マイルドセブン・プライム・スーパーライト・ボックス」を東京都限定で発売する予定です。

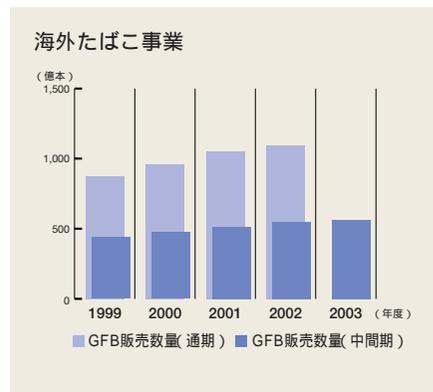
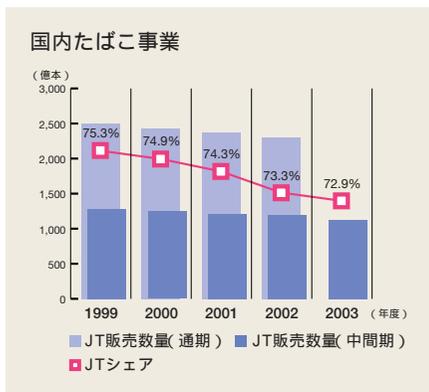
コスト構造改革としましては、本年7月に、国内原料部門の組織再編を2004年7月から2006年4月にかけて段階的に実施することを決定いたしました。また、すでに昨年7月には、2005年3月末までに8ヵ所のたばこ製造工場の閉鎖を決定し、うち3ヵ所の工場（仙台工場、名古屋工場、橋本工場）の製造を本年3月末に中止しましたが、加えて、本年9月には、2005年3月末にさらに6ヵ所のたばこ製造工場を製造中止とすること、および2005年6月末に6ヵ所の支店の統廃合を行うことを決定するなど、コスト競争力強化に向けた施策を順次進めております。

当中間連結会計期間における国産紙巻たばこの販売数量は、総需要の減少傾向が続く中、本年7月からのたばこ税増税に伴う定価改定の影響により、前中間期に比べ53億本減少し、1,126億本^注（前中間期比4.6%減）シェアは72.9%（前中間期比0.5%減）となりました。また、千本当税抜売上高は3,881円（前中間期比27円増）となりました。

海外たばこ事業につきましては、子会社JT International S.A.を中核として、継続的かつ効果的な販売促進活動などにより、持続的成長に向けて積極的に事業を展開いたしました。収益力強化策としましては、GFBにおけるブランド価値強化の一環として、昨年の「キャメル」の世界的なりニユアールに続き、本年は「セーラム」の世界的なりニユアールを実施し、本年7月よりアジアを皮切りに順次投入地域を拡大しております。

こうした取り組みにより、当中間連結会計期間における海外の紙巻たばこの販売数量は、前中間期に比べ63億本減少し、968億本^注（前中間期比6.1%減）となりましたが、主にロシアにおいてGFBの一つである「ウィンストン」の販売数量が増加したことなどから、高価格製品であるGFBの販売数量は前中間期に比べ15億本増加し、565億本（前中間期比2.7%増）と、順調な成長を見せました。

この結果、海外たばこ事業におけるGFBの販売数量伸張による売上高の増加などはありましたが、国内たばこ事業における販売数量減少による影響が大きく、売上高は2兆1,151億円（前中間期比0.2%減）となりました。利益面では、国内たばこ事業におけるコスト削減などにより、営業利益は1,287億円（前中間期比1.8%増）となりました。



*2003年度のマーケットシェアは中間期の、それ以外は年度の実績です。

なお、海外たばこ事業については、2003年1~6月の実績を当中間連結会計期間の実績としております。

また、当中間連結会計期間における紙巻たばこの生産量は、1,950億本(前中間期比7.6%減)となりました。

(注)国内免税市場およびJT中国事業部直轄の中国・香港・マカオ市場の当中間連結会計期間における販売数量は29億本ですが、当該数値には含まれておりません。

〔医薬事業〕

医薬事業につきましては、自社における研究開発力の一層の充実・強化を図る一方、海外の企業とも共同で研究開発を進めてまいりました。開発状況としては、現在、自社開発品5品目が臨床試験の段階にあります。なお、国内で第2相臨床試験を終えた段階にあった抗炎症剤について、本年9月、臨床開発の中止を決定いたしました。本剤につきましては、2002年1月に藤沢薬品工業(株)と国内における第3相臨床試験からの共同開発および共同販売契約を締結しておりましたが、臨床開発の中止により、本契約についても終了することになりました。また、本年7月、米国ギリアド・サイエンシズ社と抗HIV剤の日本における独占的商業化権を取得するライセンス契約を締結し、現在、抗HIV剤2剤について輸入承認申請の準備段階にあります。

米国アグロン社と共同開発し、米国、欧州および日本などで販売しております抗HIV剤「ピラセプト」につきましては、市場における競争の激化を受け、ロイヤリティ収入は減少いたしました。

また、鳥居薬品(株)につきましては、主力品である蛋白分解酵素阻害剤「注射用フサン」における後発品の影響などにより売上高は減少いたしました。

この結果、抗HIV剤のロイヤリティ収入の減少および鳥居薬品(株)の売上高減少などにより、売上高は267億円

(前中間期比4.3%減)となりました。利益面では、研究開発費の減少などにより営業損失は60億円(前中間期比14.5%減)となりました。

〔食品事業〕

食品事業につきましては、新商品の開発、投入および販売チャネルの強化に努めるとともに、市場状況に応じた弾力的かつ機動的な事業運営を行い、事業価値の増大を積極的に推進いたしました。

加工食品事業においては、市販用冷凍食品の「大人気!」シリーズなどのラインナップの充実・強化に努めるとともに、事業全般にわたる経費の低減を図り、収益力を強化いたしました。

飲料事業においては、自動販売機オペレーター子会社である(株)ジャパンビバレッジを中心とした自動販売機販路の着実な拡大により、販売実績は好調に推移いたしました。「ルーツ」シリーズについては、ラインナップを充実・強化し、本年9月に、レギュラーコーヒーのようなほのかな酸味を再現する、独自の「低pH技術」を用いた「ルーツライブボディ」の発売にあわせ、全面刷新いたしました。また、国内最大市場である無糖茶市場においても、発酵度の高い烏龍茶葉のみを使用した「紅烏龍」を中心に新商品を積極的に投入いたしました。

この結果、加工食品事業における事業規模の拡大、飲料事業における自動販売機販路の伸張および連結範囲の拡大などにより、売上高は1,241億円(前中間期比8.3%増)となりました。利益面では、売上高の拡大、収益力の強化および連結調整勘定償却額の減少などにより、営業損失は前中間期に対し48億円減少し、14億円(前中間期比76.6%減)となりました。

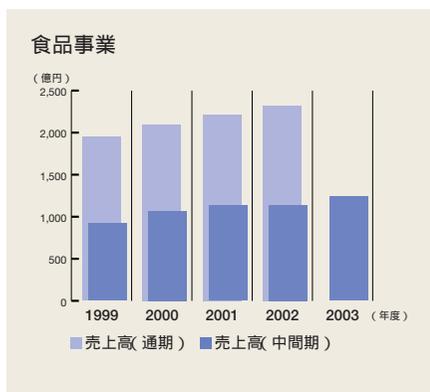
なお、本年4月1日、営業力の強化および業務の効率化を目的として、加工食品の販売子会社であるジェイティフーズ(株)と、飲料製品の販売子会社であるジェイティ飲料(株)を合併いたしました(存続会社はジェイティフーズ(株))。

〔その他事業〕

その他事業につきましても、積極的かつ効率的な事業運営に努めました。

この結果、売上高は515億円(前中間期比53.5%増)、営業利益は72億円(前中間期比1,513.6%増)となりました。

なお、アグリ事業については、本年6月末に撤退いたしました。



連結財務諸表

中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当中間期末 (2003年9月30日現在)	対前期末増減
資産の部		
流動資産	1,440,596	94,231
固定資産	1,654,272	42,990
有形固定資産	733,010	303
建物及び構築物	316,209	4,841
機械装置及び運搬具	143,027	5,930
土地	180,754	3,080
その他	93,017	2,295
無形固定資産	687,898	24,231
連結調整勘定	378,083	3,518
商標権	272,253	16,260
その他	37,561	4,452
投資その他の資産	233,363	67,524
繰延資産	86	67
資産合計	3,094,954	137,289

2003年3月31日現在との比較です。

「連結調整勘定」とは事業取得時の取得価額と時価純資産額との差額です。RJRインターナショナル(現JTインターナショナル)や鳥居薬品(株)(株)ユニマットコーポレーション(現(株)ジャパンビバレッジ)株式取得時に生じました。

商標権の主な内容は、RJRインターナショナル(現JTインターナショナル)取得時にあわせて取得したCAMEL、Winston、Salemといったグローバル・フラッグシップ・ブランドの商標権です。

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位:百万円)

科目	当中間期末 (2003年9月30日現在)	対前期末増減
負債の部		
流動負債	718,969	124,227
固定負債	752,613	63,416
負債合計	1,471,582	187,644
少数株主持分		
少数株主持分	55,909	4,838
資本の部		
資本金	100,000	-
資本剰余金	736,400	-
利益剰余金	732,150	57,761
その他有価証券評価差額金	7,561	4,929
為替換算調整勘定	8,650	2,360
資本合計	1,567,461	55,192
負債、少数株主持分及び資本合計	3,094,954	137,289

共済年金負担*に係る負債額を退職給付引当金に含めて計上したことを主因に、負債額は増加しました。

*共済年金負担とは、公的年金負担に要する費用のうち、昭和31年6月以前(公共企業体職員等共済組合法施行日前)の給付対象期間に係る共済年金給付費用の負担であり、事業主が負担することとされています。共済年金負担については従来、支出時に費用計上していましたが、財務体質の一層の健全化に向けて、2003年4月より適用された独立行政法人会計基準の改訂も踏まえ、2004年3月期より当該共済年金負担に係る負債額を算定し、退職給付引当金に含めて計上することとしました。

当期純損失を計上したことを主因に、利益剰余金は減少しました。

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当中間期 (2003年4月1日から 2003年9月30日まで)	対前期増減
売上高	2,317,610	21,455
売上原価	1,843,824	23,818
売上総利益	473,785	2,363
販売費及び一般管理費	344,932	16,825
営業利益	128,853	14,462
営業外収益	4,555	662
営業外費用	14,524	614
経常利益	118,884	14,510
特別利益	8,478	1,749
特別損失	207,294	193,786
税金等調整前当期純利益	79,932	177,525
法人税、住民税及び事業税	33,925	76,969
少数株主利益	3,221	729
中間純損益	49,228	101,285

海外たばこ事業、食品事業、その他事業の売上高が増加し、国内たばこ事業、医薬事業の減収を補ったことから増収となりました。

国内たばこ事業をはじめとして、全社でコスト削減に努めたことを主因に、各事業で増益となりました。

特別損失が大幅に増加していますが、その主な要因は財務体質健全化に向けて、共済年金給付負担金を費用として一括処理したことにあります(185,095百万円)。

共済年金給付負担金一括処理の影響を除いて試算すると、中間純損益は増益となります。

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

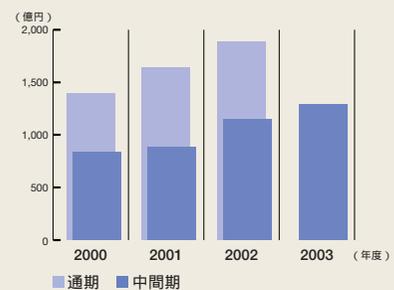
中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

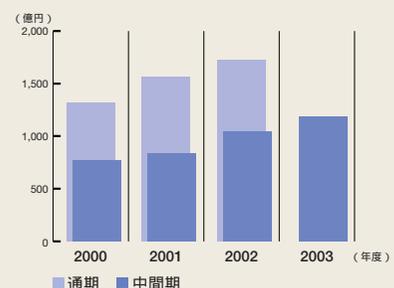
科目	当中間期 (2003年4月1日から 2003年9月30日まで)	対前期増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	177,145	30,373
投資活動によるキャッシュ・フロー	49,040	12,642
財務活動によるキャッシュ・フロー	52,807	10,099
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,083	5,735
現金及び現金同等物の増減額	76,381	33,566
現金及び現金同等物の期首残高	602,644	68,140
新規連結子会社の現金及び 現金同等物の期首残高	6,860	6,621
現金及び現金同等物の中間期末残高	685,886	108,328

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

営業利益



経常利益



単独財務諸表

中間貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前年度末 (2003年3月31日現在)	当中間期末 (2003年9月30日現在)
資産の部		
流動資産	898,537	940,822
現金及び預金	69,383	60,653
受取手形	525	550
売掛金	53,408	54,700
有価証券	18,567	18,018
半製品	175,351	149,543
原材料	107,370	94,097
その他たな卸資産	55,398	42,170
キャッシュ・マネージメント・システム預託金	349,394	438,663
その他	70,469	82,691
貸倒引当金	1,331	269
固定資産	1,611,087	1,645,826
有形固定資産	518,170	498,499
建物	243,197	242,743
機械及び装置	77,923	68,530
土地	154,798	154,692
その他	42,251	32,533
無形固定資産	214,339	195,241
商標権	179,463	164,896
その他	34,876	30,345
投資その他の資産	878,576	952,084
関係会社株式	762,365	763,491
その他	126,787	198,663
貸倒引当金	4,057	4,154
投資評価引当金	6,518	5,916
資産合計	2,509,624	2,586,648

(単位:百万円)

科目	前年度末 (2003年3月31日現在)	当中間期末 (2003年9月30日現在)
負債の部		
流動負債	326,512	426,218
買掛金	16,883	21,778
一年以内返済予定の長期借入金	46,324	17,424
一年以内償還予定の社債	-	122,000
未払たばこ税	49,122	56,100
未払たばこ特別税	14,830	14,676
未払地方たばこ税	62,866	69,636
未払法人税等	24,754	25,502
賞与引当金	11,865	14,842
その他	99,865	84,256
固定負債	549,926	601,305
社債	272,000	150,000
長期借入金	63,219	54,507
退職給付引当金	175,772	358,766
役員退職慰労引当金	313	291
その他	38,620	37,740
負債合計	876,438	1,027,523
資本の部		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	736,400	736,400
資本準備金	736,400	736,400
利益剰余金	795,785	717,146
利益準備金	18,776	18,776
任意積立金	711,705	642,887
中間(当期)末処分利益	65,303	55,482
その他有価証券評価差額金	1,000	5,578
資本合計	1,633,185	1,559,124
負債及び資本合計	2,509,624	2,586,648

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間損益計算書

(単位:百万円)

科目	前中間期 (2002年4月1日から 2002年9月30日まで)	当中間期 (2003年4月1日から 2003年9月30日まで)	増減金額	前年度 (2002年4月1日から 2003年3月31日まで)
売上高	1,359,922	1,367,469	7,546	2,641,892
売上原価	1,077,404	1,076,005	1,399	2,098,798
売上総利益	282,518	291,464	8,945	543,093
販売費及び一般管理費	209,947	200,717	9,230	420,242
営業利益	72,570	90,747	18,176	122,850
営業外収益	12,697	4,473	8,223	17,085
受取利息	114	161	47	270
有価証券利息	166	69	97	267
受取配当金	9,688	1,482	8,205	10,227
その他	2,727	2,760	32	6,319
営業外費用	11,196	11,359	163	18,542
支払利息	1,213	781	432	2,214
社債利息	2,434	2,434	-	4,856
その他	7,547	8,143	595	11,472
経常利益	74,071	83,860	9,788	121,393
特別利益	6,259	8,382	2,122	16,477
特別損失	12,170	205,631	193,461	39,863
税引前中間(当期)純利益 又は税引前中間純損失()	68,160	113,389	181,549	98,007
法人税、住民税及び事業税	27,262	46,868	74,130	37,884
法人税等調整額	-	-	-	2,894
中間(当期)純利益又は 中間純損失()	40,897	66,520	107,418	57,228
前期繰越利益	16,075	20,003	3,927	16,075
共済年金給付負担積立金取崩高	-	102,000	102,000	-
中間配当額	-	-	-	8,000
中間(当期)未処分利益	56,973	55,482	1,491	65,303

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。



文豪たちとたばこ 「島崎 藤村」



「生命は力なり。力は声なり。新しき言葉はすなわち新しき生涯なり」。明治32年、32歳の藤村は『藤村詩集』の中で高らかに、そしておおらかに新しい文学の始まりを謳っている。

島崎藤村は「木曾路はすべて山の中である」で始まる『夜明け前』の舞台、信州・木曾に生まれた。『千曲川のスケッチ』で有名な浅間山麓の町・小諸で教鞭をとるかたわら、『文学界』で北村透谷らとともに浪漫派詩人として活躍した。その後フランスに渡り第一次世界大戦に遭遇するなど、激動する国際環境の中で明治、大正、昭和と三時代にわたって創作活動に取り組んだ、日本を代表する詩人であり作家である。

藤村の根底には「真に束縛を離れてこの『生』（ライフ）を觀ようとするその精神（『ルソーの懺悔の中に見だしたる自己』より）があった。あるがままの己を見つめ、物事を見つめようという近代リアリズムが最大の文学的動機であった。

その藤村もかなりの愛煙家で、執筆中はたばこ

が欠かせなかったという。木曾・馬籠で晩年の大作『夜明け前』の執筆を始めたとき、資料集めなどに使われた当時の村長宅である清水屋の曾祖母は、「たばこ盆の中が毎日吸い残しのゴールデンバットの林でした」と語っている。この部屋はたばこ盆とともに「思索の間」として清水屋資料館に今も保存されている。清水屋は藤村の息子が帰農するときに世話をした家で、作品『嵐』の中で「森さん」として紹介されている。

清水屋資料館の坂本館長によると、東京に住んでいたころ、藤村の息子はよくたばこを買いに行かされたと言っていたという。そういえば昔は、子供がお使いでたばこを買いに行ったものだった。

ゴールデンバットは、藤村の生誕地・馬籠で現在でも販売されている。

ある株主さまより「藤村が愛煙家であった」との投書をいただき、今回島崎藤村を取りあげさせていただきます。

MEET YOUR DELIGHT

医薬事業部 事業企画部長 大久保 憲朗に聞く



JTが次代の柱と位置づけている医薬事業。
その医薬事業について、
皆さまの疑問にお答えします。

医薬事業の使命は克服されていない疾病のための薬を開発すること

JTの医薬事業のミッションは何でしょうか。

大久保 「病気で苦しんでいる患者さんを、自分たちが創薬することでどれだけ多く救うことができるか」。この製薬企業の最大の使命を果たすことが、何よりもその薬を待ち望んでいる患者さんや家族の人たちの、そしてわたしたちの喜び (=Delight) につながります。その実現のために、国際的に通用する特色ある研究開発主導型事業の構築、オリジナル新薬を通じての存在感の確保に努めています。こうした取り組みを着実に実行することで収益基盤を確立し、事業価値の増大へ貢献していくことを目指しています。

医療用医薬品に的を絞り、研究開発に重点

医薬事業にはいつ参入したのですか。また、医薬事業の概要を教えてください。

大久保 医薬事業は、新薬の開発を通じて社会に貢献できる社会的存在価値の高い事業であり、ハイリスクではありますが、付加価値が高い事業であることから、たばこ事業を通じて得た経営諸資源をもとに、1987年に参入しました。以前は薬局などで取り扱われる一般用医薬品なども手がけていましたが、現在は医師の診断により処方される医療用医薬品に的を絞って取り組んでいます。

研究開発の中核となっているのは、1993年に大阪府高槻市に設立された医薬総合研究所です。海外には米国に研究拠点としてチュラリック・ファーマシューティカル社(2000年6月発足)臨床開発拠点としてアクロスファーマ社(2000年4月臨床開発機能を付加)があります。製造機能を担うのは山口県の防府製薬工場で、営業・販売機能は1998年にグループ会社となった鳥居薬品(株)が担っています。また、虎ノ門



医薬総合研究所

医療用医薬品臨床開発品目(2003年10月30日現在)

開発名	適応症	開発	開発段階	
			国内	海外
JTE-607(注射)	全身性炎症反応症候群	自社開発	フェーズ	フェーズ
JTV-803(注射)	血液凝固阻止	自社開発	フェーズ	フェーズ
JTT-705(経口)	高脂血症	自社開発	フェーズ	フェーズ
JTK-003(経口)	C型肝炎	自社開発	フェーズ	フェーズ
JTT-130(経口)	高脂血症	自社開発	フェーズ	フェーズ
フマル酸テノフォビル・ジソプロキシル(経口)	抗HIV	ギリアド・サイエンシズ社(導入)	申請準備中	
エムトリシタピン(経口)	抗HIV	ギリアド・サイエンシズ社(導入)	申請準備中	

第1相試験 フェーズ :Phase) 志願した健康な成人の方を対象に、安全性および薬物の体内動態(吸収、分布、代謝、排泄)を確認する試験

第2相試験 フェーズ :Phase) 同意を得た少数の患者さんを対象に、有効性の検討と安全性を確認する試験

第3相試験 フェーズ :Phase) 同意を得た多数の患者さんを対象に、標準治療薬との比較による有効性と安全性を確認する試験

JTビル内医薬事業部門では、国内臨床開発、新薬の承認申請などの申請・届出、市販後の安全性の調査などを行っています。

業績については、鳥居薬品(株)を含む連結ベースで、2003年3月期売上高539億円、営業損失138億円、今中間期売上高267億円、営業損失60億円の状況にあります。なお研究開発費は、2003年3月期264億円(単体)、今中間期は120億円(単体)を投入しており、オリジナル新薬の開発に向け積極的に取り組んでいます。

世界レベルの新薬になりうる新薬候補品の臨床開発入りを目指す

これまでの代表的な成果にはどのような製品がありますか。

大久保 米国・アグロン社と共同開発した抗HIV剤「ピラセプト」があげられます。「ピラセプト」は、エイズの原因となるHIV(ヒト免疫不全ウイルス)の増殖に関係する酵素(HIVプロテアーゼ: HIV由来の蛋白分解酵素)の阻害作用を持つ医薬品で、1997年から米国で、1999年からは日本で販売され、現在は世界中の様々な国で販売されています。

JTが得意としている分野はありますか。

大久保 以前は、特に領域を特化せずに研究開発を行っていました。しかし、研究開発においては、スピードに加え、高い確度で新薬の上市につながるという意味で、質の向上を更に目指す必要があります。従って、過去の知見と戦力の集中化の観点から、現在は主として「糖・脂質代謝、ウイルス、免疫・炎症、骨」の領域に注力しています。

JTの中期経営計画である「JT PLAN-V」での医薬事業の目標は。

大久保 医薬事業は、国際的に通用する特色ある研究開発主導型事業の構築、オリジナル新薬を通じての存在感の確保に努め、収益基盤の確立により、早期に事業価値の増大へ貢献することを目指しています。

「JT PLAN-V」期間中においては、世界レベルの新薬になりうる候補品3品目を臨床開発段階に入れることを目標とし、積極的に研究開発に取り組んでまいります。

大久保 憲昭(おおくぼ のりあき)

1983年入社 たばこ製造工場勤務後、経営企画室を経て、米国子会社にて医薬事業に携わる。帰国後、医薬事業部国際企画部長などを勤め、2002年8月より現職。



防府製薬工場の製造工程



新商品開発ストーリー



「もう、たばこくさいなんて言わせない。」
国内トップブランド「マイルドセブン」に
低臭気カテゴリーの新商品が登場です。
マイルドセブン本来の持ち味である口当たりのよさと、
すっきりとしたタール6mgの味わい。
JTの本気を見てください!

「マイルドセブン・プライム・スーパーライト・ボックス」

～11月4日から東京都限定発売～

世界に先駆けての「低臭気カテゴリー」開拓

約6年の研究開発を経て、当社は世界で初めて低臭気たばこの開発に成功しました。

たばこの煙の成分は約4千種類。そのうち人間がいやなニオイと感じる成分は5種類です。そこで当社はいやなニオイ成分のみを選択的に封じ込めるシトラス香料を開発。たばこ本来の香りそのままに、ゆたかな味わいが愉しめる「低臭気カテゴリー」たばこを製品化しました。

既存の概念を覆して……

さらに「マイルドセブン・プライム・スーパーライト・ボックス」では巻紙を二重構造とすることで、燃焼をコントロール。たばこの煙も少なくしています。

名称の「プライム」はプレミアム(=最良の、第一等の)の語源であり、また、「春」夜明け」といった意味があります。「マイルドセブンのプレミアム化」を表現するとともに、低臭気という新たな価値の誕生の意味を込めて名づけました。また既存のたばこの概念を覆すということから、「マイルドセブン」の新しいロゴが箱からはみ出る大胆なデザインを採用しました。



たばこ事業本部
ブランドマネージャー
鏑塚 隆光

開発担当者よりひとこと

低臭気カテゴリー製品の第一弾である「ルーシア」は、まったく新しいブランドの上にメンソールたばこでしたから、においを抑える「シトラスの香り」を積極的に生かすことができました。しかし、マイルドセブンはチョコレートフレーバーをベースとしたレギュラーたばこ。シトラスの香りをストレートに使えません。正直に言いますと「マイルドセブンに合うわけがない。」というのが開発当初の率直な思いでした(笑)。それでも低臭気カテゴリーを確立させるためには、JTトップブランドの「マイルドセブン」での投入が必須。JTの総力をあげて取り組んだ結果、自信作ができあがりました。

とにかく吸っていただければ、いかに「いやなニオイを感じない」かを実感していただけます。たばこを吸わない方も、「プライム」が吸われている空間”を体感してみてください。きっと驚かれるはずです!

「低臭気カテゴリー」についてはp17の特集もあわせてご覧ください。

新商品のご紹介

気になるにおいを抑えたたばこ。第一弾「ルーシア」が全国発売へ



2003年2月より東京都限定で発売が開始された「ルーシア・シトラスフレッシュ・メンソール」においの少なさに驚いた「車の中にたばこの嫌なにおい・煙が充満しなくて嬉しい」「シトラスの香りが新鮮」と好評をいただき、8月には首都圏エリアに販売を拡大。さらに好調な販売推移により、11月4日より全国発売となりました。

「ルーシア・シトラスフレッシュ・メンソール」	
製品サイズ	フィルター付100mmスリムサイズ
フィルタータイプ	プレーンフィルター
タール値	5mg
ニコチン値	0.3mg
包装形態	20本入ラウンドボックス
定 価	300円 / 20本入

コーヒー本来のほのかな酸味まで追求

「ルーツ ライブボディ」では今回新たに開発した「低pH技術」を採用。pH調整の影響を最小限にとどめ、コーヒーが持っているほのかな酸味さえ感じさせる、広がりのある味わいを実現しました。

「ルーツ リアルブレンド」「ルーツ ファインエッジ微糖」「ルーツ アロマブラック」の三品目は、定評ある香味はそのままに、パッケージを一新。独自の技術で殺菌時の熱による味へのダメージを低減しています。

「ルーツ ライブボディ」「ルーツ リアルブレンド」
「ルーツ ファインエッジ微糖」「ルーツ アロマブラック」

ルーツ ライブボディ	9月29日新発売	希望小売価格115円(税抜)
ルーツ リアルブレンド	9月29日リニューアル	希望小売価格115円(税抜)
ルーツ ファインエッジ微糖	9月29日リニューアル	希望小売価格115円(税抜)
ルーツ アロマブラック	9月29日リニューアル	希望小売価格115円(税抜)



ボリューム満点。 お弁当にも夕飯にもおすすめです。



九州産「安心咲鶏®」のやわらかい胸肉にパン粉をまぶし、オープンでカリッと焼きあげた「チーズをのせた若鶏のオープン焼き」とろけたチーズと赤ピーマン、パセリの彩りが食欲をそそります。

「えびいか貝柱のかき揚げ」は、えび・いか・貝柱と5種類の野菜を使用。衣を少なくした素材感と彩りの良さが特徴です。上からサラッとタレをかけているので、うどんやそばに乗せたり、ご飯やお弁当のおかずにしたりと色々使えます。

「チーズをのせた若鶏のオープン焼き」	
チーズをのせた若鶏のオープン焼き	4個入(140g) / 280円
えびいか貝柱のかき揚げ	4個入(120g) / 280円

特集

たばこのいやなニオイに対する要望にお応えすることは、JTの責務です。



たばこを吸う人も、吸わない人も、気になるのが「たばこのニオイと煙」。ある調査によると、愛煙家でも約半数の方々が「たばこのいやなニオイは嫌い」と回答しています。

ニオイの感じ方には個人差がありますが、「たばこのいやなニオイを抑えて欲しい」という社会やお客さまからの要望はとても大きなものです。こうした要望にしっかりと応えていくのがJTの責務。6年間にわたる研究開発の結果、新たな価値を持った製品が誕生しました。

(詳しくはp15の新商品開発ストーリーもあわせてご覧ください)

「低臭気カテゴリー」の創出と新マーケットの形成に向けて

1950年代の「フィルター付たばこ」の登場と同じくらいのインパクトが期待できる「低臭気たばこ」の登場。JTは世界に先駆けて「製品化」を実現させた強みを生かし、他社の追随を推し進めるべく組織をあげて取り組んでいます。

「実感」

実際に体験していただければわかってもらえる。

実力と自信に裏打ちされたこの取り組みが「ルーシア・カフェ」そして「マイルドセブン・プライム・カフェ」です。

どこにあるの？

ルーシア・カフェ1号店は8月5日より渋谷センター街のまんなかに、2号店は9月24日より新宿アルタ脇に、オープンしました。そしてマイルドセブン・プライム・スーパーライト・ボックスの発売に合わせて、11月4日より「マイルドセブン・プライム・カフェ」としてリニューアルオープンしました。

満20才以上の方のみご利用いただけます。

マイルドセブン・プライム・カフェってどんなもの？

ご自身で低臭気製品の「たばこのいやなニオイの少なさ」を体験できます。平日で100人超、休日では200人超もお客さまが訪れ、低臭気を実感されています。また雑誌なども常備しておりますので、喫煙可能な場所が減ってきている中、愛煙家の方がゆったりとたばこを吸ったり、待ち合わせにお使いいただける貴重な空間となっています。



「マイルドセブン・プライム・カフェ 渋谷店」
東京都渋谷区宇田川町29-2



「マイルドセブン・プライム・カフェ 新宿店」
東京都新宿区新宿3-24-7

愛煙家がゆっくりたばこを たのしめる場所を。

2003年1月、東京・大手町のオフィス街に突如出現、大きな話題を呼んだ「SmoCar（スモーカー）」は、喫煙スペース完備のイベントカーです。さっぽろ雪まつり、徳島阿波おどり、仙台七夕まつりなどのイベントにも随時出動。設置以来、推定10万人の方にご利用いただくなど人気を集め、またそのニーズが高いことから、2003年9月、2号車である「SmoCar 2」が誕生しました。

「SmoCar 2」は南フランスへのパカンスをイメージ。「たばこを愛するおとなとして、ルールやマナーは勿論、周りの人への配慮を忘れず、愛するたばこをスマートに最大限に楽しむ」つまりSmokers' Styleを提案しています。



SmoCar 2は9月3日から虎ノ門JTビル前に設置していますが、「東京モータショー」など、日本全国のイベントにも出動しています。



写真は「ルーシア・カフェ」のものです。

「参加」

一緒に「低臭気カテゴリー」を作っていきませんか？

より身近に感じていただくために。審査員に秋元康さん、テリー伊藤さん、山咲千里さんを迎え、「気になるニオイを抑えたたばこ」カテゴリー名称ネーミングコンテストを実施しました。

最優秀作品には、なんと1,000万円を進呈するという超大型宣伝は、社会で大きな話題を呼びました。（結果発表は1月上旬に専用HPにて）

JTは今後とも、愛煙家とたばこをお吸いにならない方の協調ある共存を目指し、快適な喫煙場所の提供や、分煙システムの提案、低臭気カテゴリー製品市場の創出を推進していきたいと考えています。

イベント

JTの社会貢献活動

JTでは、社会で歓迎されるより良き企業市民となるために、社会の一員として継続的に社会貢献活動に取り組んでいます。

企業として社会の発展に寄与しつつ社会とのコミュニケーションを深めていくことが、JTに対する理解・共感を高めていただけることにつながるものと考えています。

「よき隣人であり、そして良き企業市民であるJTを目指すこと」地域社会との共生を図ること」が、私たちの社会貢献活動の重要なミッションです。

社員一人ひとりの地域社会へのコミットメントも含めた貢献活動は、社会へのディライト実現とともに、私たち自身にとってのディライト発見・実現の機会でもあると考えています。

私たちは今後とも、社会的責任のある一企業の責務として、継続的に社会貢献活動に取り組んでまいります。

JT アートホール アフィニス

アフィニスは1988年(昭和63年)芸術文化、とりわけ音楽を中心とした領域での文化普及活動を行うために設立されました。演奏家の研鑽に対する助成などを行い、芸術文化の振興を図り、日本文化の向上発展に寄与することを目的としています。

『アフィニス(Affinis)』という言葉は、「親密な関係」「隣人」という意味を持つラテン語ですが、日本では「ニコチアナ・アフィニス」という美しく可憐な花をつける花たばこの呼び名として知られています。「アフィニス」の花ことばは「ふれあい」「信頼」です。「JTアートホールアフィニス」という名前は、文化を通じて「ふれあい」を求め、そしてその輪を広げていきたいという願いを込めてつけられました。

お昼休みには入場無料の「期待の音大生によるアフタヌーンコンサート」、夜には3千円という手ごろな入場料で、今後が期待される成長著しい若手演奏家による「JTが育てるアンサンブルシリーズ」や超一流の演奏家による「JTアートホール室内楽シリーズ」など、さまざまなクラシック音楽をお届けしています。

また、「大人の街に、大人の音楽を」を合言葉に、「Jazz in Toranomom」と題したジャズライブも開催しています。

これらの音楽に普段あまりなじみのない方も、どうぞお気軽にご来場ください。

【JT アートホール アフィニス】

〒105-8422 東京都港区虎ノ門2-2-1 JTビル2F Tel.03-5572-4945

【お問い合わせ先】

日本たばこ産業株式会社 社会貢献室

〒105-8422 東京都港区虎ノ門2-2-1 JTビル Tel.03-3582-3111(代表)





第40回ゴルフ日本シリーズJTカップ

12月4日～12月7日開催

かつて1試合の出場者が最大6名というぜいたくなトーナメントがありました。1963年に第1回が開かれたゴルフ日本シリーズ。出場資格は当時の6大公式競技である日本オープンと日本プロ、関東、関西それぞれのオープンとプロの優勝者だけというものでした。セパ両リーグの優勝チームが日本一を争う野球の日本シリーズにならって始まったこの大会は、出場資格を時流にあわせて見直し、よりエキサイティングなものに進化してきました。

本大会は、今年で40回目を迎え、伝統と歴史あるメジャー大会として、また、日本を代表するトッププロによる本年度日本一を決するトーナメント最終戦として、これまで多くのゴルフファンの皆さまから親しまれ、大変注目を集める大会として知られております。

【会場】

東京よみうりカントリークラブ

(よみうりランド内 小田急線新百合ヶ丘駅および京王相模原線稲城駅下車)

入場観戦券:前売り券(各日共通1日券 ¥4,000円)



F1ハンガリー戦

F・アロンソ F1史上最年少で初優勝

「マイルドセブン・ルノーF1チーム」のタイトルスポンサーとしてJTが参戦しているF1。ハンガリーでの決勝レースは気温・路面温度とも過酷な戦いとなりました。ベテランドライバーのヤルノ・トゥルーリと新鋭フェルナンド・アロンソを起用する「マイルドセブン・ルノーF1チーム」は、前戦のドイツグランプリで圧倒的な強さをみせたBMWウィリアムズチームのほかマクラーレン・メルセデスチームなどと競い合いました。

F・アロンソはスタートの1コーナーを先頭で突き進むと、2位のK・ライコネン(マクラーレン・メルセデス)に16.768秒のタイム差をつけてトップでチェッカー。F1での最年少記録で初優勝を飾りました。



株式の諸手続について

名義書換をするには？

新たに株式を購入されたり、保管振替制度のご利用を取りやめられた時には、お早めに名義書換の手続きをお取りください。名義書換の手続きがお済みでない場合には、株主総会の招集ご通知をはじめとした各種郵送物がお手元に届かないばかりでなく、配当金等のお支払いについても以前の名義の方に支払われることとなります。

名義書換の手続き

三菱信託銀行にお越しいただく場合

三菱信託銀行の本店へ、株券と印鑑（お届出印となります）をご持参ください。その場で名義書換請求書にご記入していただき、いったん株式をお預かりして手続きをさせていただきます。手続きが終了し、お手元に株券が戻るまでには10日前後かかります。**書換手数料は不要です。**

証券会社を通じて行う場合

証券会社でも名義書換を依頼することができます。必要なものは三菱信託銀行にお越しいただく場合と同じですが、**書換手数料がかかります。また場合によっては手続きに時間がかかることもありますので、手数料額・所要日数等詳しくは当該証券会社におたずねください。**

郵便をご利用の場合

名義書換請求書を郵送するなど、名義書換に郵便をご利用になることもできます。詳しくは三菱信託銀行にお問い合わせください。

住所変更をするには？

株主総会招集ご通知、郵便振替支払通知書（配当金通知書）等はご登録の住所宛に送付させていただいております。引越し等により、ご住所に変更があった場合には、当社の名義書換代理人であります三菱信託銀行へ速やかにお届出をお願いいたします。

住所変更の手続き

三菱信託銀行にお越しいただく場合

三菱信託銀行の本店へ、お届出印をご持参ください。その場で変更届にご記入し、ご提出していただきますと、手続きをさせていただきます。手数料は不要です。

郵便をご利用の場合

三菱信託銀行にお電話いただきますと、変更届をご送付いたしますので、必要事項をご記入のうえ、ご返送ください。株券のご提出は不要です。ご返送の費用についてはご負担いただくこととなりますが、それ以外には手数料はいただきません。

配当金の受取方法は？

配当金のお受取方法の種類

配当金のお受取方法については、現金受取と口座振込がございます。**口座振込をご選択いただきますと安全かつ確実に配当金をお受け取りいただけます。**

現金受取をご選択の株主さまには、郵便局で受け取りができる証書（郵便振替支払通知書）を送付いたしますので、お近くの郵便局でお早めにお受け取りください。

口座振込をご選択の株主さまには、あらかじめご指定いただいた銀行・郵便局等の口座に配当金が直接振り込まれます。また、利益（中間）配当金計算書が送付されます。

現金受取から口座振込への変更

現在、現金受取を選択されており、これから金融機関等への口座振込を希望される株主さまは、当社の名義書換代理人であります三菱信託銀行へご連絡ください。

配当金関係の書類が届かない場合、または郵便振替支払通知書を紛失した、あるいは払渡し期間を過ぎてしまった場合は？

上記の理由等により、配当金をお受け取りいただけなくなっている株主さまは、三菱信託銀行へご連絡ください。

株式の諸手続についての問い合わせ先は

当社株式の手続きにつきましては、下記、当社の名義書換代理人であります三菱信託銀行までお問い合わせください。また、同行本店ならびに全国各支店におきましても各種手続きのお取り次ぎをいたしますのでご利用ください。なお、住所変更、配当金振込指定・変更に必要な各用紙および株式の相続手続依頼書のご請求につきましては、フリーダイヤル（0120-86-4490）で24時間承っておりますので、ご利用ください。

お問い合わせ先

三菱信託銀行株式会社 証券代行部
フリーダイヤル 0120-707-696
（受付時間 土・日・祝日を除く 9:00～17:00）

郵便物送付先

三菱信託銀行株式会社 証券代行部
〒171-8508 東京都豊島区西池袋一丁目7番7号

各種手続用紙のご請求

フリーダイヤル 0120-86-4490
（三菱信託銀行 24時間テレホン自動音声応答サービス）

役員

取締役

代表取締役会長	小川 是
代表取締役社長	本田 勝彦
代表取締役副社長	寛 正三
取締役副社長	堀田 隆夫
取締役副社長	梅野 實
取締役副社長	小幡 一衛
取締役	金森 哲治
取締役	加藤 隆

監査役

常勤監査役	野呂 幸弘
常勤監査役	田中 寿
監査役	成田 正路
監査役	村山 弘義

執行役員

社長	
副社長	(たばこ事業本部長 兼 印刷事業・特機事業担当)
副社長	(財務・コーポレートコミュニケーション・不動産担当)
副社長	(コンプライアンス・総務・制度対策・法務・監査担当)
副社長	(企画グループリーダー 兼 人事労働・アグリ事業担当)
常務執行役員	(食品事業本部長)
常務執行役員	(医薬事業部 医薬科学責任者)
常務執行役員	(たばこ事業本部 原料統括部長)
常務執行役員	(たばこ事業本部 製造統括部長)
常務執行役員	(たばこ事業本部 商品グループリーダー)
常務執行役員	(医薬事業部 医薬総合研究所長)
常務執行役員	(食品事業本部 飲料事業部長)
常務執行役員	(コーポレートコミュニケーション グループリーダー)
常務執行役員	(たばこ事業本部 研究開発統括部長 兼 渉外企画担当)
常務執行役員	(医薬事業部長)
執行役員	(法務部長)
執行役員	(たばこ事業本部 製品開発統括部長)
執行役員	(たばこ事業本部 営業統括部長)
執行役員	(医薬事業部 臨床開発部長)
執行役員	(財務グループリーダー)
執行役員	(不動産・アグリ事業・印刷事業・特機事業担当)
執行役員	(食品事業本部 事業企画部長)
執行役員	(総務部長 兼 制度対策担当)
執行役員	(食品事業本部 食品事業部長)
執行役員	(人事労働グループリーダー)

本田 勝彦
寛 正三
堀田 隆夫
梅野 實
小幡 一衛
金森 哲治
宮本 積
牧野田 睦
西澤 省悟
松永 康正
石黒 繁夫
伊東 映仁
勝浦 秀夫
熊倉 一郎
加藤 隆
下村 隆一
佐藤 活文
西原 孝治
大木 史郎
戸谷 眞一
住川 雅明
塩澤 義介
山田 良一
小林 一夫
小泉 光臣

株価の推移

(千円) (1994年10月27日上場～2003年9月末 当社株価(東証終値))



株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月
利益配当金支払株主確定日	3月31日
中間配当金支払株主確定日	9月30日
公告掲載新聞	日本経済新聞
名義書換代理人	三菱信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱信託銀行株式会社 証券代行部
お問い合わせ先 郵便物送付先	〒171-8508 東京都豊島区西池袋一丁目7番7号 三菱信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル 0120-707-696 (受付時間 土・日・祝日を除く 9:00～17:00)
同取次所	三菱信託銀行株式会社 全国各支店
各種手続用紙のご請求	住所変更、配当金振込指定・変更に必要な各用紙および株式の相続手続 依頼書のご請求は、名義書換代理人のフリーダイヤル(0120-86-4490) で24時間承っておりますので、ご利用ください。

MEET
YOUR
DELIGHT 

日本たばこ産業株式会社

〒105-8422 東京都港区虎ノ門2-2-1 JTビル

電話:03-3582-3111

<http://www.jti.co.jp/>